

平成31年度  
入学者選抜要項

国立大学法人

九州工業大学

<http://www.kyutech.ac.jp/>

# 目 次

九州工業大学のアドミッションポリシー	1
1. 募集人員	2
2. 一般入試	
(1) 一般入試出願に際しての注意事項	3
(2) 出願資格	3
(3) 一般入試の実施教科・科目等について	5
(4) 欠員補充第2次募集について	6
3. 推薦入試	
(1) 推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない）	7
(2) 推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）	9
4. A O入試	11
5. 帰国子女入試	13
6. 私費外国人留学生入試	15
7. 英語の外部検定試験の利用について	
(1) 英語の外部検定試験の利用と換算について	17
(2) 換算表	17
(3) スコアシート等の提出における注意事項	18
8. インターネットを利用した出願について	19
9. 障害等を有する入学志願者の事前相談について	20
10. 個別の入学資格審査について	21
11. 入学試験に係る情報開示について	24
12. 安全保障輸出管理について	24
13. 募集要項等の公表時期及び入手方法等	25
14. 各学部のアドミッションポリシー	
(1) 工学部	28
(2) 情報工学部	31
◆平成30年度入学試験状況（一般入試・推薦入試Ⅰ・推薦入試Ⅱ）	34
◆九州工業大学の所在地	35
◆平成32年度入学者選抜試験における国際バカロレア入試の導入について【予告】	38

# 九州工業大学のアドミッションポリシー（入学者受入方針）

## 建学の精神：技術に堪能（かんのう）なる士君子

今を遡ること100余年、明治42年（1909年）に九州工業大学の前身である私立明治専門学校が、戸畑の地（現在の北九州市）に開校しました。日本の近代化の歴史の中で、明治34年（1901年）に北九州・八幡の地に設置された官営製鉄所（八幡製鉄所）は、日本の殖産興業を支えた重要な拠点です。八幡製鉄所を含め、この北部九州の地を中心として、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」として認められたことは記憶に新しいところです。

その中で、これらの施設に魂を込めるために、日本における技術者（エンジニア）の養成を旗印として、当時の高等教育の巨人、山川健次郎博士を初代総裁として招き、安川敬一郎及び松本健次郎の巨額の寄付のもと設置されたのが明治専門学校です。このときに示されたのが「技術に堪能なる士君子」、すなわち技術に精通するとともに、道義心のある人格者を養成すること、単に学問・技術を授けるのではなく、人間形成にも重点を置いた教育を行うという建学の精神です。本学は設立以来、その形態を私立から官立へ、官立から国立大学へと変えつつも、この建学の精神を脈々と受け継ぎ、明治から現在に至るまで、我が国の近代化、工業化、産業の発展に貢献する、6万人を超える優れた技術者を輩出し続けてきました。

その後、昭和61年（1986年）には、情報通信革命が始まる中、日本の情報通信技術を支える技術者を輩出するために、福岡県飯塚の地に情報工学部を設置しました。続いて、平成12年（2000年）には、21世紀を支える生命（バイオ）のもつ特性を工学的に活用する技術を起こす技術者を創出するために、北九州市若松の学研都市内に生命体工学研究科を設置しました。工学、情報工学、生命体工学と、産業革命・情報通信革命・バイオ革命と急速に時代が進展する中で、新たな知識と技術を持続的に生み出し続ける研究力を背景に、建学以来、常に、わが国の産業を支え、世界の先端で活躍できる技術者を生み出す学びの場を提供し続けています。その卒業生は企業の中核技術者や経営者として社会を支え、未来を切り拓いています。

本学は、「技術に堪能なる士君子」のもと、幅広い理工学分野における教育と研究を通して人類・社会に貢献することを基本理念とします。この理念に則って、「ものづくり」と「情報」における新しい技術と科学の発展において、深い専門性、幅広い知識と教養、多様な人々と協働するために必要なコミュニケーション能力及び技術者として必要な倫理観を備えるとともに、グローバル社会で活躍できる優れた技術者（グローバルエンジニア）としての能力を発展・向上させます。

また、本学が入学時点で入学者にもってほしいと期待する素養や能力は以下のとおりです。

- ・理工学分野の基盤となる、数学、理科（物理、化学、生物等）、情報などの理数系科目に高い学力をもち、各高等学校等が定める履修課程表に従い全ての科目の基礎学力をもっていること。
- ・理系人として成長する強い意志と、「社会をより良くする何かを残したい、社会の問題を解決したい」という夢をもち続け、自らそのために行動できること。
- ・国際化に対応できるコミュニケーション能力の修得や、様々な文化を理解し受容することに、前向きな姿勢で臨むことができること。
- ・自律的な学びから広い視野をもち、多様な人々と協働することを通して、創意、発見する知の探求を持続する必要性を理解していること。

本学は、入学者の選抜にあたり、多様な選抜方法で、多面的・総合的に評価します。いずれの選抜方法においても、調査書等を用いて高等学校段階までの履修状況を確認します。加えて、一般入試では、大学入試センター試験、個別学力検査により、問題解決力を問うため、基礎学力と理数系の思考力・判断力・表現力等を評価します。一方、特別入試では、本学での学習に対応できる基礎学力を問うとともに、技術者としての適性や主体性、多様な人々と協働する姿勢なども考慮し、多面的に資質や能力を評価します。

# 平成31年度九州工業大学入学者選抜の概要について

九州工業大学では、平成31年度入試（平成30年度実施）から、情報工学部の推薦入試Ⅱ（センター試験を課す）を廃止し、新たに工学部及び情報工学部においてアドミッション・オフィス入試（以下「AO入試」という。）を実施するほか、一般入試、推薦入試、帰国子女入試及び私費外国人留学生入試を実施します。

## 1. 募集人員

学部	類	募集人員	入試区分ごとの募集人員						募集人員
			一般入試		特別入試				
			前期日程	後期日程	推薦入試Ⅰ (大学入試センター試験を課さない)	推薦入試Ⅱ (大学入試センター試験を課す)	AO入試	帰国子女入試	
工学部	工学1類	80名	34名	30名	10名	3名	3名	若干名	若干名
	工学2類	165名	74名	58名	22名	3名	8名	若干名	若干名
	工学3類	144名	62名	44名	30名	4名	4名	若干名	若干名
	工学4類	74名	31名	22名	14名	3名	4名	若干名	若干名
	工学5類	68名	32名	20名	10名	3名	3名	若干名	若干名
	小計	531名	233名	174名	86名	16名	22名		
情報工学部	情工1類	177名	105名	28名	35名	/	9名	若干名	若干名
	情工2類	110名	60名	20名	24名		6名	若干名	若干名
	情工3類	123名	71名	20名	25名		7名	若干名	若干名
	小計	410名	236名	68名	84名		22名		
合計		941名	469名	242名	170名	16名	44名		

- (注1) 推薦入試Ⅰ、推薦入試Ⅱ及びAO入試の合格者がそれぞれの募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般入試の合格者で補充します。
- (注2) 前期日程の募集人員には、帰国子女入試の募集人員（若干名）を含みます。
- (注3) 追加合格によっても、入学手続完了者が、募集人員に満たない場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。
- (注4) 各類から2年生進級時に所属する学科は、下表のとおりです。入学後は学部・類に所属し、1年生での共通教育を受けた後の2年生進級時に各類から進級できる学科への所属となります。なお、学科への所属は、本人の適性や興味等に応じた希望と学業成績により決定します。

### 【工学部】

類【専門分野】 (全入試区分の募集人員)	1年生	学科(定員) ※2年生進級時に所属決定	コース
工学1類【建設社会系】 (80名)	共通教育	建設社会工学科 (80名)	建築学コース/ 国土デザインコース
工学2類【機械知能・宇宙系】 (165名)		機械知能工学科 (136名)	機械工学コース/ 知能制御工学コース
工学3類【電気電子・宇宙系】 (144名)		宇宙システム工学科 (55名)	機械宇宙システム工学コース※/ 電気宇宙システム工学コース※
		電気電子工学科 (126名)	電気エネルギー工学コース/ 電子システム工学コース
工学4類【応用化学系】 (74名)		応用化学科 (74名)	応用化学コース
工学5類【マテリアル・宇宙系】 (68名)	マテリアル工学科 (60名)	マテリアル工学コース	

※ 機械宇宙システム工学コースは工学2類及び工学5類から、電気宇宙システム工学コースは工学3類及び工学5類から進級できます。

### 【情報工学部】

類【専門分野】 (全入試区分の募集人員)	1年生	学科(定員) ※2年生進級時に所属決定	コース
情工1類【先端情報工学系】 (177名)	共通教育	知能情報工学科 (93名)	データ科学コース/人工知能コース/ メディア情報学コース
		情報・通信工学科 (93名)	ソフトウェアデザインコース/ 情報通信ネットワークコース/ コンピュータ工学コース
情工2類【学際情報工学系】 (110名)		知的システム工学科 (94名)	ロボティクスコース/システム制御コース/ 先進機械コース
情工3類【自然情報工学系】 (123名)		物理情報工学科 (65名)	電子物理工学コース/生物物理工学コース
	生命化学情報工学科 (65名)	分子生命工学コース/医用生命工学コース	

## 2. 一般入試

一般入試の入学者の選考は、大学入試センター試験の成績と本学が行う個別学力検査の成績及び調査書の内容等を総合して行います。

なお、大学入試センター試験の成績は、平成31年度大学入試センター試験の成績を用いるものとします。平成30年度以前の成績は利用できないので、注意してください。

### (1) 一般入試出願に際しての注意事項

- ① 志願者は、「前期日程」で試験を実施する大学・学部から1つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から1つを選び、合計2つの大学・学部に出願することができます。

従って、本学の「前期日程」に出願する者は、本学又は他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の「後期日程」に出願することができます。

また、本学の「後期日程」に出願する者は、本学又は他の国公立大学・学部の「前期日程」に出願することができます。

※ 独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については、公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/nyushi>) を参照してください。

- ② 「前期日程」の試験に合格し、所定の期日までに入学手続きを完了した者は、「後期日程」の大学・学部を受験しても、それらの大学・学部の合格者とはなりません。

また、国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センターの受験番号に限って、合否及び入学手続き等に関する個人情報、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付されます。

- ③ 本学の志望類については、第3志望まで志望できます。

ただし、同一類を重複して志望したり、学部間にまたがって類を志望することはできません。

なお、工学部においては、第3志望についてのみ志望類を「特定しない」とすることができます。

### (2) 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ第1志望の学部・類が指定する平成31年度大学入試センター試験の全教科・科目（5・6ページ参照）を受験した者

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び平成31年3月修了見込みの者
- ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成31年3月修了見込みの者

- ⑥ 文部科学大臣の指定した者
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成31年3月31日までに合格見込みの者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの
- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの

※ 上記⑧により出願しようとする者は、21～23ページ記載の「10. 個別の入学資格審査について」に従い、手続きを行ってください。

(3) 一般入試の実施教科・科目等について

① 工学部

学部名及び募集人員	学力検査の区分・日程	類名及び募集人員	大学入試センター試験の利用教科・科目名・配点			個別学力検査		
			教科	配点	科目名	教科	配点	科目名
工学部 531名 前期 233 後期 174 その他 124	前期 2月 25日	工学1類 34名	国語	200	国語			
			地歴 公民	100	世界史B, 日本史B, 地理B 「倫理, 政治・経済」			
		工学2類 74名	数学	200	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 情報関係基礎 から1科目	数学	400	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」
		工学3類 62名	理科	200	物理と化学	理科	400	「物理基礎・物理」と「化学基礎・化学」
		工学4類 31名	外国語	200	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目			
		工学5類 32名	計	900	(5教科7科目)	計	800	
	後期 3月 12日	工学1類 30名	国語	100	国語			
			数学	200	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 情報関係基礎 から1科目	数学	300	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」
		工学4類 22名	理科	200	物理と化学	理科		「物理基礎・物理」又は「化学基礎・化学」
		工学5類 20名	外国語	100	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目			
			計	600	(4教科6科目)	計	300	1教科選択
		工学2類 58名	国語	100	国語			
			数学	200	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 情報関係基礎 から1科目	数学	300	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」
		工学3類 44名	理科	200	物理と化学	理科		「物理基礎・物理」
		外国語	100	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目				
		計	600	(4教科6科目)	計	300	1教科選択	

注意事項 (工学部)

1. 大学入試センター試験の利用教科・科目名・配点欄について

- (1) 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限ります。
- (2) 「地歴・公民」において2科目受験した場合は、受験した科目のうち第1解答科目の得点を「地歴・公民」の得点として用います。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でない場合は、出願できません。
- (3) 外国語の「英語」には、「リスニング」を含みます。

※ 「英語」の配点内訳は、前期日程が、筆記試験160点、リスニング40点、後期日程が、筆記試験80点、リスニング20点とします。

また、大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングを免除された者については、筆記試験(前期日程は200点満点、後期日程は100点満点)の得点のみを利用します。

なお、大学入試センターの受験上の配慮以外の理由によりリスニングを受験しなかった者は、出願できません。

2. 個別学力検査について

- (1) 数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- (2) 後期日程において、工学2類を志望する者で、受験科目で理科を選択する場合は、志望順位にかかわらず、「物理基礎・物理」を受験しなければなりません。
- (3) 後期日程において、工学3類を第1志望とする者で、受験科目で理科を選択する場合は、「物理基礎・物理」を受験しなければなりません。ただし、工学3類を第2志望又は第3志望とする場合は、この限りではありません。

3. 英語の外部検定試験の利用について

大学入試センター試験の「外国語」を「英語」で受験している場合、大学入試センター試験の「外国語」の得点に対し、17ページ(2)の①工学部の換算表の点数を加点します。

ただし、加点後の「外国語」の得点が、「外国語」の配点(前期日程は200点、後期日程は100点)を超える場合は、「外国語」の配点を上限とします。

詳細については、平成30年10月下旬公表予定の一般入試学生募集要項を参照してください。

## ② 情報工学部

学部名及び募集人員	学力検査の区分・日程	類名及び募集人員	大学入試センター試験の利用教科・科目名・配点			個別学力検査			
			教科	配点	科目名	教科	配点	科目名	
情報工学部 410名 前期 236 後期 68 その他 106	前期 2月 25日	情工1類 105名	国語	150	国語	数学 情工1類 360 情工2類 300 情工3類 240	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」		
			地歴 公民	50	世界史B, 日本史B, 地理B 「倫理, 政治・経済」			} から1科目	
		情工2類 60名	数学	100	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 情報関係基礎 から1科目				
			情工3類 71名	理科	100			物理, 化学, 生物, 地学から2科目	理科 情工1類 240 情工2類 300 情工3類 360
		外国語		200	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目			計	600
		計	600	[5教科7科目]	計			600	
	後期 3月 12日	情工1類 28名	国語	100	国語	数学 300	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B」		
			数学	情工1類 180 情工2類 150 情工3類 120	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 情報関係基礎 から1科目			} 1教科 選択	
		情工2類 20名	理科	情工1類 120 情工2類 150 情工3類 180	物理, 化学, 生物, 地学から2科目				理科
			情工3類 20名	外国語	200			英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目	計
計		600		[4教科6科目]	計			300	

※ 類毎に、前期日程においては個別学力検査の数学及び理科、後期日程においては大学入試センター試験の数学及び理科の配点が異なります。

### 注意事項 (情報工学部)

- 大学入試センター試験の利用教科・科目名・配点欄について
  - 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。
  - 「地歴・公民」において2科目受験した場合は、受験した科目のうち第1解答科目の得点を「地歴・公民」の得点として用います。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でない場合は、出願できません。
  - 後期日程において、第2志望又は第3志望で選考する場合、大学入試センター試験の配点については、選考する類の配点を用います。
  - 外国語の「英語」には、「リスニング」を含みます。
 

※ 「英語」の配点内訳は、筆記試験160点、リスニング40点とします。リスニングを受験しなかった者については、リスニングは0点とし、筆記試験のみの得点（160点満点）を利用します。

なお、大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングを免除された者については、筆記試験のみの得点を、200点満点として利用します。
- 個別学力検査について
  - 数学Bは「数列」, 「ベクトル」を出題範囲とします。
  - 前期日程において、第2志望又は第3志望で選考する場合、個別学力検査の配点については、選考する類の配点を用います。
- 英語の外部検定試験の利用について
 

大学入試センター試験の「外国語」を「英語」で受験し、かつ、「英語」リスニングを受験している場合、大学入試センター試験の「英語」リスニングの得点（素点50点満点）と、17ページ（2）の②情報工学部の換算表の点数を比較し、換算表の点数が高い場合、その換算点に置き換えます。

詳細については、平成30年10月下旬公表予定の一般入試学生募集要項を参照してください。

### (4) 欠員補充第2次募集について

追加合格によっても、入学手続完了者がなお各類の募集人員に満たず、必要と認める場合には、欠員補充第2次募集を行います。

なお、募集を行う学部・類及び選抜方法等については、平成31年3月28日（木）以降に本学ホームページで公表します。



### 3. 推薦入試

#### (1) 推薦入試 I (大学入試センター試験を課さない)

##### 【工学部・推薦入試 I】

実施学部・類名 募集人員	<table style="margin-left: 40px;"> <tr><td>工学1類</td><td>10名</td></tr> <tr><td>工学2類</td><td>22名</td></tr> <tr><td>工学3類</td><td>30名</td></tr> <tr><td>工学4類</td><td>14名</td></tr> <tr><td>工学5類</td><td>10名</td></tr> </table>	工学1類	10名	工学2類	22名	工学3類	30名	工学4類	14名	工学5類	10名
工学1類	10名										
工学2類	22名										
工学3類	30名										
工学4類	14名										
工学5類	10名										
出願要件	<p>次の各号に該当する者</p> <p>① 高等学校(特別支援学校の高等部を含む。), 中等教育学校又は文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を卒業した者及び平成31年3月卒業(修了)見込みの者</p> <p>② 合格した場合, 入学することを確約できる者</p> <p>③ 出身学校長が次のいずれか1つに該当するものと認め, 責任を持って推薦する者 (ア)数学, 理科が特に優秀である者 (イ)調査書の全体の評定平均値が3.8以上の者</p>										
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し, 調査書及び面接試験の結果に基づき, 合否を判定します。</p> <p>面接試験は, 複数面接担当者による約30分間の個人面接で, 志望動機, 適性等の他に, 工学1類, 工学2類及び工学3類は, 「数学及び理科(物理の領域)」に関する基礎的学力をみる口頭試問を含みます。</p> <p>工学4類は「数学及び理科(化学の領域)」に関する基礎的問題についての口頭試問です。</p> <p>工学5類は「数学及び理科(物理又は化学の領域)」に関する基礎的問題についての口頭試問です。</p> <p>・配点 調査書 200 点満点 面接試験 800 点満点 合計 1000 点満点で評価します。</p> <p>・英語の外部検定試験の利用について 面接試験の得点に対し, 17ページ(2)の①工学部の換算表の点数を加点します。ただし, 加点後の面接試験の得点が, 面接試験の配点(800点)を超える場合は, 面接試験の配点を上限とします。</p>										
出願期間	平成30年11月 1日(木)～ 8日(木)										
試験日	平成30年11月27日(火)又は28日(水)のいずれか1日										
合格発表日	平成30年12月 7日(金)										
その他	<p>十分な基礎学力, 科学技術に対する強い興味, さらにリーダーとしての資質を持つ学生を募集します。例えば, ある課題を与えられたときに基礎学力を基にしてじっくり考え, その中に潜む問題を発見し, 意欲と熱意をもって独自の見方, 考え方で解決に導くことに取り組むことができ, その課題解決をグループで行う場合には, リーダーシップを発揮できる学生を対象とします。</p> <p>国立大学・学部の推薦入試へ出願できるのは, 1つの大学・学部のみです。ただし, 本学工学部の推薦入試 I に不合格となった場合, 本学工学部の同一類を志望する場合には限り, 推薦入試 II に出願することができます。</p>										

詳細については, 平成30年9月中旬公表予定の推薦入試 I 学生募集要項を参照してください。

【情報工学部・推薦入試Ⅰ】

<p>実施学部・類名 募集人員</p>	<table border="0"> <tr> <td>情報工学部</td> <td>情工1類</td> <td>35名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>情工2類</td> <td>24名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>情工3類</td> <td>25名</td> </tr> </table>	情報工学部	情工1類	35名		情工2類	24名		情工3類	25名
情報工学部	情工1類	35名								
	情工2類	24名								
	情工3類	25名								
<p>出願要件</p>	<p>次の各号に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）、中等教育学校又は文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を卒業した者及び平成31年3月卒業（修了）見込みの者</li> <li>② 合格した場合、入学することを確約できる者</li> <li>③ 出身学校長が責任を持って推薦する者</li> </ol>									
<p>選抜方法等</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、調査書及び面接試験の結果に基づき、可否を判定します。</p> <p>面接試験は、複数面接担当者による各類で定められた時間（20～30分間）の個人面接で、志望動機、適性等の他に、英語、数学及びインターネット出願登録時に選択した理科（物理、化学、生物の領域から1つを選択）の基礎的学力をみる口頭試問を含みます。</p> <p>高等学校若しくは中等教育学校の職業教育を主とする学科及び総合学科の出身者については、数学の選択範囲を情報技術基礎（工業）、プログラミング（商業）、アルゴリズムとプログラム（情報）まで拡張しますので、該当者はインターネット出願登録時に数学の範囲を選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配点 調査書 300点満点 面接試験 700点満点 合計 1000点満点で評価します。</li> <li>・英語の外部検定試験の利用について 17ページ（2）の②情報工学部の換算表で推薦Ⅰの満点の基準を満たす場合、面接試験において「英語」の口頭試問を免除するとともに、面接試験の「英語」に関する評価を満点とします。</li> </ul>									
<p>出願期間</p>	<p>平成30年11月 1日（木）～ 8日（木）</p>									
<p>試験日</p>	<p>平成30年11月27日（火）又は28日（水）のいずれか1日</p>									
<p>合格発表日</p>	<p>平成30年12月 7日（金）</p>									
<p>その他</p>	<p>知的好奇心に富み、物事をじっくり観察し、深く考察して論理的判断を下すことができる学生を募集します。</p> <p>十分な基礎学力を持ちながら筆記試験では実力を発揮できない者、理数系や情報工学系の特定の分野に強い興味を持ち創造性豊かな者、勉学に対する熱意を持ち課外活動を通して積極的行動力や指導力を身につけた者等を対象とします。</p> <p>国立大学・学部の推薦入試へ出願できるのは、1つの大学・学部のみです。</p>									

詳細については、平成30年9月中旬公表予定の推薦入試Ⅰ学生募集要項を参照してください。

(2) 推薦入試Ⅱ (大学入試センター試験を課す)

【工学部・推薦入試Ⅱ】

<p>実施学部・類名 募集人員</p>	<p>工学1類 3名 工学2類 3名 工学部 工学3類 4名 工学4類 3名 工学5類 3名</p>																								
<p>出願要件</p>	<p>次の各号に該当する者                  ① 高等学校(特別支援学校の高等部を含む。), 中等教育学校又は文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を卒業した者及び平成31年3月卒業(修了)見込みの者                  ② 合格した場合, 入学することを確約できる者                  ③ 出身学校長が次のいずれか1つに該当するものと認め, 責任を持って推薦する者                  (ア) 数学, 理科が特に優秀である者                  (イ) 調査書の全体の評定平均値が3.8以上の者                  ④ 志望する類が指定する平成31年度大学入試センター試験の全教科・科目を受験した者                  ⑤ 数学Ⅲを履修している者                  なお, 理数科にあつては, 理数数学Ⅱを履修している者</p>																								
<p>選抜方法等</p>	<p>大学入試センター試験の成績と調査書に基づいて総合的に(1000点満点)判定します。</p> <p>・大学入試センター試験の利用教科・科目及び配点(900点)(5教科7科目)</p> <table border="1" data-bbox="422 891 1356 1267"> <thead> <tr> <th>類</th> <th>教科</th> <th>科目</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">全類</td> <td>国語</td> <td>国語</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>地歴 公民</td> <td>世界史B, 日本史B, 地理B } から1科目 「倫理, 政治・経済」</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>物理と化学</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 外国語の「英語」には「リスニング」を含み, 配点内訳は, 筆記試験160点, リスニング40点とします。                  また, 大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングを免除された者については, 筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。                  なお, 大学入試センターの受験上の配慮以外の理由によりリスニングを受験しなかった者は, 出願できません。</p> <p>・調査書</p> <table border="1" data-bbox="422 1574 833 1664"> <thead> <tr> <th>類</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全類</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・英語の外部検定試験の利用について                  大学入試センター試験の「外国語」を「英語」で受験している場合, 大学入試センター試験の「外国語」の得点に対し, 17ページ(2)の①工学部の換算表の点数を加点します。ただし, 加点後の「外国語」の得点が, 「外国語」の配点(200点)を超える場合は, 「外国語」の配点を上限とします。</p>	類	教科	科目	配点	全類	国語	国語	200	地歴 公民	世界史B, 日本史B, 地理B } から1科目 「倫理, 政治・経済」	100	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」	200	理科	物理と化学	200	外国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目	200	類	配点	全類	100
類	教科	科目	配点																						
全類	国語	国語	200																						
	地歴 公民	世界史B, 日本史B, 地理B } から1科目 「倫理, 政治・経済」	100																						
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」	200																						
	理科	物理と化学	200																						
	外国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目	200																						
類	配点																								
全類	100																								
<p>出願期間</p>	<p>平成31年 1月23日(水)～28日(月)</p>																								
<p>試験日</p>	<p></p>																								

合格発表日	平成31年 2月13日(水)
その他	<p>国立大学・学部の推薦入試へ出願できるのは、1つの大学・学部のみです。ただし、本学工学部の推薦入試Ⅰに不合格となった場合、本学工学部の同一類を志望する場合には限り、推薦入試Ⅱに出願することができます。</p> <p>なお、本学のAO入試は併願できません。</p>

詳細については、平成30年9月中旬公表予定の推薦入試Ⅱ学生募集要項を参照してください。

#### 4. AO入試

##### AO入試（大学入試センター試験を課す）

【工学部・情報工学部共通（ただし、学部名の記載がある項目は、当該学部の内容を示している。）】

実施学部・類名 募集人員	<table border="0"> <tr><td>工学1類</td><td>3名</td></tr> <tr><td>工学2類</td><td>8名</td></tr> <tr><td>工学3類</td><td>4名</td></tr> <tr><td>工学4類</td><td>4名</td></tr> <tr><td>工学5類</td><td>3名</td></tr> </table>	工学1類	3名	工学2類	8名	工学3類	4名	工学4類	4名	工学5類	3名	<table border="0"> <tr><td>情報工学部</td><td>情工1類</td><td>9名</td></tr> <tr><td></td><td>情工2類</td><td>6名</td></tr> <tr><td></td><td>情工3類</td><td>7名</td></tr> </table>	情報工学部	情工1類	9名		情工2類	6名		情工3類	7名																																								
工学1類	3名																																																												
工学2類	8名																																																												
工学3類	4名																																																												
工学4類	4名																																																												
工学5類	3名																																																												
情報工学部	情工1類	9名																																																											
	情工2類	6名																																																											
	情工3類	7名																																																											
出願要件	<p>次の各号に該当する者で、本学を第1志望とするもの</p> <p>① 高等学校、中等教育学校若しくは文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を卒業した者及び平成31年3月卒業（修了）見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月修了見込みの者</p> <p>② 志望の類が指定する平成31年度大学入試センター試験の全教科・科目を受験した者</p> <p>③ 数学Ⅲ（理数科にあっては理数数学Ⅱ，高等専門学校にあっては数学Ⅲに相当する科目）を履修している者</p>																																																												
選抜方法の概要	<p>大学入試センター試験の成績と課題解決型記述問題，グループワーク，個人面接，高校入学後の活動に関する記述及び調査書等の総合的な評価により判定します。</p> <p>第2段階選抜 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合は，本学が指定する大学入試センター試験（5教科7科目）の成績と調査書等の合計点により，第1段階選抜を行うことがあります。この場合は，第1段階選抜の合格者のみ第2段階選抜を行います。</p>																																																												
第1段階選抜方法等	<p>第1段階選抜（1,200点満点）</p> <p>・大学入試センター試験の利用教科・科目・配点（900点）（5教科7科目）</p> <table border="1" data-bbox="422 1099 1418 1352"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>類</th> <th>教科</th> <th>科目</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">工学部</td> <td rowspan="5">全類</td> <td>国語</td> <td>国語</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>地歴 公民</td> <td>世界史B，日本史B，地理B 「倫理，政治・経済」</td> <td>から1科目 50</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>物理と化学</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>英語，ドイツ語，フランス語，中国語， 韓国語から1科目</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="422 1384 1418 1704"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学部</th> <th rowspan="2">類</th> <th rowspan="2">教科</th> <th rowspan="2">科目</th> <th colspan="3">配点</th> </tr> <tr> <th>情工 1類</th> <th>情工 2類</th> <th>情工 3類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">情報工学部</td> <td rowspan="5">全類</td> <td>国語</td> <td>国語</td> <td colspan="3">150</td> </tr> <tr> <td>地歴 公民</td> <td>世界史B，日本史B，地理B 「倫理，政治・経済」</td> <td colspan="3">から1科目 50</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」</td> <td>280</td> <td>250</td> <td>220</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>物理，化学，生物，地学から2科目</td> <td>220</td> <td>250</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>英語，ドイツ語，フランス語，中国語， 韓国語から1科目</td> <td colspan="3">200</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 外国語の「英語」には「リスニング」を含み，配点内訳は，筆記試験160点，リスニング40点とします。</p> <p>また，大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングを免除された者については，筆記試験（200点満点）の得点のみを利用します。</p> <p>なお，工学部においては，大学入試センターの受験上の配慮以外の理由によりリスニングを受験しなかった者は，出願できません。</p> <p>※ 情報工学部においては，類毎に，大学入試センター試験の数学及び理科の配点が異なります。</p>		学部	類	教科	科目	配点	工学部	全類	国語	国語	150	地歴 公民	世界史B，日本史B，地理B 「倫理，政治・経済」	から1科目 50	数学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」	250	理科	物理と化学	250	外国語	英語，ドイツ語，フランス語，中国語， 韓国語から1科目	200	学部	類	教科	科目	配点			情工 1類	情工 2類	情工 3類	情報工学部	全類	国語	国語	150			地歴 公民	世界史B，日本史B，地理B 「倫理，政治・経済」	から1科目 50			数学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」	280	250	220	理科	物理，化学，生物，地学から2科目	220	250	280	外国語	英語，ドイツ語，フランス語，中国語， 韓国語から1科目	200		
学部	類	教科	科目	配点																																																									
工学部	全類	国語	国語	150																																																									
		地歴 公民	世界史B，日本史B，地理B 「倫理，政治・経済」	から1科目 50																																																									
		数学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」	250																																																									
		理科	物理と化学	250																																																									
		外国語	英語，ドイツ語，フランス語，中国語， 韓国語から1科目	200																																																									
学部	類	教科	科目	配点																																																									
				情工 1類	情工 2類	情工 3類																																																							
情報工学部	全類	国語	国語	150																																																									
		地歴 公民	世界史B，日本史B，地理B 「倫理，政治・経済」	から1科目 50																																																									
		数学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」	280	250	220																																																							
		理科	物理，化学，生物，地学から2科目	220	250	280																																																							
		外国語	英語，ドイツ語，フランス語，中国語， 韓国語から1科目	200																																																									

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書及び高校入学後の活動に関する記述の配点（300点）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>類</th> <th>評価項目</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">全類</td> <td>調査書</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>高校入学後の活動に関する記述</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 「高校入学後の活動に関する記述」については、高校入学以降の各種活動（部活動、高校行事、学業での活動や資格等の取得を含む。）を総合的に評価します。「高校入学後の活動に関する記述」の具体的な記述例については、本学ホームページ及び平成30年10月下旬に公表予定のAO入試学生募集要項を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の外部検定試験の利用について 大学入試センター試験の「外国語」を「英語」で受験している場合、英語の外部検定試験で一定のスコア（級）を取得し、スコアシート等（18ページ参照）を出願時に提出したものは、得点の加点又は置き換えを受けることができます。 そのため、英語の外部検定試験については、第1段階選抜における高校入学後の活動に関する記述の評価対象とはなりません。 各学部の加点又は置き換えについては、17ページ（2）の換算表を参照してください。</li> <li>・第1段階選抜の不合格者は、第2段階選抜の試験を受験することができません。</li> </ul>	類	評価項目	配点	全類	調査書	200	高校入学後の活動に関する記述	100		
類	評価項目	配点									
全類	調査書	200									
	高校入学後の活動に関する記述	100									
出願期間	平成31年1月23日（水）～28日（月）										
第1段階選抜合格発表日	平成31年2月6日（水）										
第2段階選抜方法	<p>第2段階選抜（1,500点満点） 第1段階選抜の合格者に対してのみ、第2段階選抜を行います。 ただし、志願者数によっては、第1段階選抜は実施せず、第2段階選抜のみを実施します。 第2段階選抜においては、大学入試センター試験の成績のほか、課題解決型記述問題、グループワーク及び個人面接を実施し、第1段階選抜の点数は利用せず、第2段階選抜のみの点数により判定します。第2段階選抜における、課題解決型記述問題、グループワーク及び個人面接をすべて受験しなければ、第2段階選抜の合否判定の対象とはなりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試センター試験の利用教科・科目・配点（900点） 第2段階選抜における大学入試センター試験の利用教科・科目・配点等については、11ページの第1段階選抜と同じです。</li> <li>・英語の外部検定試験の利用について 大学入試センター試験の「外国語」を「英語」で受験している場合、英語の外部検定試験で一定のスコア（級）を取得し、スコアシート等（18ページ参照）を出願時に提出したものは、得点の加点又は置き換えを受けることができます。各学部の加点又は置き換えについては、17ページ（2）の換算表を参照してください。</li> <li>・課題解決型記述問題、グループワーク及び個人面接の配点（600点）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>類</th> <th>評価項目</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">全類</td> <td>課題解決型記述問題</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>グループワーク</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>個人面接</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 「課題解決型記述問題」では、解答内容の論理性、表現力等を評価します。 ※ 「グループワーク」では、コミュニケーション力、論理性、協働的な活動への参加の状況等を評価します。 ※ 「個人面接」では、「課題解決型記述問題」の解答内容や調査書・提出資料等を参考にし、思考力、判断力、表現力等を評価します。</p>	類	評価項目	配点	全類	課題解決型記述問題	150	グループワーク	250	個人面接	200
類	評価項目	配点									
全類	課題解決型記述問題	150									
	グループワーク	250									
	個人面接	200									
第2段階選抜試験日	平成31年2月10日（日）又は11日（月）のいずれか1日										
第2段階選抜試験会場	本学工学部（戸畑キャンパス）と学外試験会場（大阪）の2会場で実施します。 ただし、グループワークを実施するため、志願者数により、本学工学部（戸畑キャンパス）1会場のみの実施となる場合があります。										
合格発表日	平成31年2月13日（水）										
その他	本学のAO入試と本学工学部の推薦入試Ⅱは併願できません。 本学のAO入試の志望類については、第3志望まで志望できます。ただし、同一類を重複して志望したり、学部間にまたがって類を志望することはできません。										

詳細については、平成30年10月下旬に公表予定のAO入試学生募集要項を参照してください。

## 5. 帰国子女入試

### 【工学部・帰国子女入試】

<p>実施学部・類名 募集人員</p>	<p>工学部</p> <p>工学1類 工学2類 工学3類 工学4類 工学5類</p> <p>若干名</p>
<p>出願要件</p>	<p>日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、次の各号のいずれかに該当するもの</p> <p>① 外国において最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成29年4月1日から平成31年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者</p> <p>② 外国において2年以上継続して学校教育を受け、引き続き、日本の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）若しくは中等教育学校後期課程の第2学年又は第3学年に編入学を認められた者で、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに卒業（修了）したもの及び卒業（修了）見込みのもの</p> <p>③ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を平成29年又は平成30年に授与された者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>④ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成29年又は平成30年に授与された者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>⑤ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成29年又は平成30年に授与された者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>⑥ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（以下「GCE-A レベル資格」という。）を平成29年又は平成30年に取得した者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの ※ GCE-A レベル資格の科目数等に関する要件：GCE-A レベル試験において1科目以上合格（E評価以上）</p>
<p>選抜方法等</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、出願書類及び面接試験（数学及び理科に関する基礎的問題についての口頭試問等を含む。）の結果により判定します。</p> <p>なお、面接試験のうち、理科の口頭試問については、工学1類、工学2類及び工学3類は「物理の領域」、工学4類は「化学の領域」、工学5類は「物理又は化学の領域」に関する基礎的問題となります。</p>
<p>出願期間</p>	<p>平成30年11月 1日（木）～ 8日（木）</p>
<p>試験日</p>	<p>平成30年11月27日（火）又は28日（水）のいずれか1日</p>
<p>合格発表日</p>	<p>平成30年12月 7日（金）</p>
<p>その他</p>	

詳細については、平成30年9月中旬公表予定の帰国子女入試学生募集要項を参照してください。

【情報工学部・帰国子女入試】

<p>実施学部・類名 募集人員</p>	<p>情報工学部 情工1類 情工2類 情工3類</p> <p>} 若干名</p>
<p>出願要件</p>	<p>日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者のうち、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けた者（保護者が先に帰国した場合は、その後の滞在が1年未満）で、次の各号のいずれかに該当するもの</p> <p>① 外国において最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成29年4月1日から平成31年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者</p> <p>② 外国において2年以上継続して学校教育を受け、引き続き、日本の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）若しくは中等教育学校後期課程の第2学年又は第3学年に編入学を認められた者で、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに卒業（修了）したもの及び卒業（修了）見込みのもの</p> <p>③ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を平成29年又は平成30年に授与された者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>④ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成29年又は平成30年に授与された者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>⑤ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成29年又は平成30年に授与された者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>⑥ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（以下「GCE-A レベル資格」という。）を平成29年又は平成30年に取得した者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>※ GCE-A レベル資格の科目数等に関する要件：GCE-A レベル試験において1科目以上合格（E評価以上）</p>
<p>選抜方法等</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、出願書類及び面接試験（英語、数学及びインターネット出願登録時に選択した理科（物理、化学、生物の領域から1つを選択）に関する基礎的問題についての口頭試問等を含む。）の結果により判定します。</p>
<p>出願期間</p>	<p>平成30年11月 1日（木）～ 8日（木）</p>
<p>試験日</p>	<p>平成30年11月27日（火）又は28日（水）のいずれか1日</p>
<p>合格発表日</p>	<p>平成30年12月 7日（金）</p>
<p>その他</p>	

詳細については、平成30年9月中旬公表予定の帰国子女入試学生募集要項を参照してください。



## 6. 私費外国人留学生入試

### 【工学部・私費外国人留学生入試】

実施学部・類名 募集人員	工学部 工学1類 工学2類 工学3類 工学4類 工学5類 } 若干名
出願要件	<p>独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成30年度「日本留学試験」の所定の試験教科・科目及び英語能力検定試験（TOEFL 又は TOEIC）を受験し、かつ、次の各号に該当する者</p> <p>① 日本国籍を有しない者</p> <p>② 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、その他文部科学大臣の指定したもの</p> <p>③ 出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者、又は大学入学後に在留資格を「留学」に変更可能な者</p>
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、平成30年度日本留学試験『日本語、理科（物理、化学の2科目）、数学（コース2）』、英語能力検定試験（TOEFL 又は TOEIC）の成績、本学が実施する第2次試験（小論文、数学・理科に関する基礎的問題についての口頭試問を含む面接）及び最終出身学校の各成績により判定します。</p> <p>なお、本学が実施する第2次試験のうち、理科の口頭試問については、工学1類、工学2類及び工学3類は「物理の領域」、工学4類は「化学の領域」、工学5類は「物理又は化学の領域」に関する基礎的問題となります。</p>
出願期間	平成31年 1月 7日（月）～ 1月11日（金）
試験日	平成31年 2月 7日（木）
合格発表日	平成31年 2月22日（金）
その他	

詳細については、平成30年10月下旬公表予定の私費外国人留学生入試募集要項を参照してください。

【情報工学部・私費外国人留学生入試】

<p>実施学部・類名 募集人員</p>	<p>情報工学部 情工1類 情工2類 情工3類</p> <p>} 若干名</p>
<p>出願要件</p>	<p>独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成30年度「日本留学試験」の所定の試験教科・科目及び英語能力検定試験（TOEFL 又は TOEIC）を受験し、かつ、次の各号に該当する者</p> <p>① 日本国籍を有しない者</p> <p>② 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、その他文部科学大臣の指定したもの</p> <p>③ 出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者、又は大学入学後に在留資格を「留学」に変更可能な者</p>
<p>選抜方法等</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、平成30年度日本留学試験『日本語、理科（物理、化学、生物から2科目）、数学（コース2）』、英語能力検定試験（TOEFL 又は TOEIC）の成績、本学が実施する第2次試験（小論文、数学・インターネット出願登録時に選択した理科（物理、化学、生物の領域から1つを選択）に関する基礎的問題についての口頭試問を含む面接）及び最終出身学校の各成績により判定します。</p>
<p>出願期間</p>	<p>平成31年 1月 7日（月）～ 1月11日（金）</p>
<p>試験日</p>	<p>平成31年 2月 7日（木）</p>
<p>合格発表日</p>	<p>平成31年 2月22日（金）</p>
<p>その他</p>	

詳細については、平成30年10月下旬公表予定の私費外国人留学生入試募集要項を参照してください。

## 7. 英語の外部検定試験の利用について

### (1) 英語の外部検定試験の利用と換算について

本学に入学を志望する者で、英語の外部検定試験で一定のスコア（級）を取得し、スコアシート等（18ページ参照）を出願時に提出したものは、本学の入学試験において得点の加点又は置き換えを受けることができます。各学部及び入試区分ごとの加点又は置き換えは以下のとおりです。

学部 入試区分	工学部	情報工学部
一般入試 (前期・後期日程)	大学入試センター試験の「外国語」を「英語」で受験している場合、大学入試センター試験の「外国語」の得点に対し、下記①工学部の換算表の点数を加点します。ただし、加点後の「外国語」の得点が、「外国語」の配点（前期日程、AO入試及び推薦入試Ⅱは200点、後期日程は100点）を超える場合は、「外国語」の配点を上限とします。	大学入試センター試験の「外国語」を「英語」で受験し、かつ、「英語」リスニングを受験している場合、大学入試センター試験の「英語」リスニングの得点（素点50点満点）と、下記②情報工学部の換算表の点数を比較し、換算表の点数が高い場合、その換算点に置き換えます。
AO入試		
推薦入試Ⅱ (大学入試センター試験を課す) 【※工学部のみ】		
推薦入試Ⅰ (大学入試センター試験を課さない)	面接試験の得点に対し、下記①工学部の換算表の点数を加点します。ただし、加点後の面接試験の得点が、面接試験の配点（800点）を超える場合は、面接試験の配点を上限とします。	下記②情報工学部の換算表で推薦Ⅰの満点の基準を満たす場合、面接試験において「英語」の口頭試問を免除するとともに、面接試験の「英語」に関する評価を満点とします。

### (2) 換算表

英語の外部検定試験の利用における工学部及び情報工学部の換算表は以下のとおりです。

#### ① 工学部の換算表（加点）

前期 後期	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ AO	TOEIC		TOEFL			GTEC			実用英語 技能検定 (英検)	Cambridge English	IELTS	TEAP 4技能
		2技能 (L&R)	4技能 (L&R) (S&W)	Junior ※1 comprehensive	iBT	Junior standard	3技能 ※2	4技能	CBT				
30点	15点	945	1305	352	95	—	—	—	1370	1級	180	7.0	400
16点	8点	785	1095	341	72	850	730	1190	1160	準1級	160	5.5	334
4点	2点	550	790	322	42	740	570	960	880	2級	140	4.0	226
2点	1点	350	510	300	25	640	410	690	510	準2級	120	3.0	150

#### ② 情報工学部の換算表（置き換え）

前期 後期	推薦Ⅰ AO	TOEIC		TOEFL			GTEC			実用英語 技能検定 (英検)	Cambridge English	IELTS	TEAP 4技能
		2技能 (L&R)	4技能 (L&R) (S&W)	Junior ※1 comprehensive	iBT	Junior standard	3技能 ※2	4技能	CBT				
50点	満点	600	860	325	45	770	620	1030	970	(注)	150	4.5	251
45点		550	790	320	40	740	570	960	880	2級	140	4.0	226
40点		470	680	315	35	700	510	850	730	—	130	3.5	200
35点		400	580	310	30	670	460	770	620	—	125	—	175
30点		350	510	305	25	640	410	690	510	準2級	120	3.0	150
25点		300	440	300	20	620	360	610	400	—	—	—	125

(注) 英検1級、準1級の場合、情報工学部の一般入試（前期・後期）及びAO入試では大学入試センター試験の「英語」リスニングの得点（素点50点満点）を50点に置き換え、また、推薦入試Ⅰでは面接試験の「英語」に関する評価を満点とする。

- ※1 TOEFL Junior comprehensive テストは、平成28年12月末日で販売終了となりましたが、当該スコアレポートはテスト受験日から2年間有効のため、下記(3)①の有効期間を満たす場合は利用できます。
- ※2 GTEC for Students は、平成29年にGTECに改称され、3技能と4技能が実施されていますが、GTEC for Students のスコアレポートはテスト受験日から2年間有効のため、下記(3)①の有効期間を満たす場合(ただし、「OFFICIAL SCORE」の記載があるものに限る。)は利用できます。

### (3) スコアシート等の提出における注意事項

- ① スコアシート等は、各検定試験の有効期間内の公式な証明書(原本)を出願時に提出してください。ただし、TOEFL iBTの「Official Score Reports」及びIELTSの「Test Report Form」は各試験団体から大学への直接送付になるため除きます。  
各検定試験の公式な証明書及び有効期間については以下のとおりです。  
なお、有効期間がある検定試験の場合は、出願する入試区分の出願期間の第一日目が有効期間内であることを確認して提出してください。

検定試験	提出する公式な証明書	検定試験の有効期間
TOEIC	Official Score Certificate (公式認定証)	検定試験の受験日から2年間
TOEFL	Official Score Reports ※iBTのみ、TOEFL事務局から大学への直接の送付となりますが、出願期限までに到着しない場合は加点及び置き換えの措置はできないので、出願期間内に必ず大学に到着するようにしてください。	検定試験の受験日から2年間
GTEC	Score Report (3技能, CBT) 又は Official Score Certificate (4技能) ※ただし、GTEC 3技能はスコアレポートに「OFFICIAL SCORE」の記載があるものに限ります。 ※GTEC 3技能及び4技能のスコアレポートは冊子体のため、スコアの記載がある表紙のみを切り取って提出してください。	検定試験の受験日から2年間
実用英語技能検定(英検)	合格証明書 ※合格証書、個人成績表等ではないので注意してください。 ※和文又は英文のいずれかを提出してください。	有効期間なし
Cambridge English	認定書	有効期間なし
IELTS	Test Report Form ※IELTS事務局から大学への直接の送付となりますが、出願期限までに到着しない場合は加点及び置き換えの措置はできないので、出願期間内に必ず大学に到着するようにしてください。Test Report Formの送付にあたっては「電子送信」を指定してください。	検定試験の受験日から2年間
TEAP 4技能	成績表	スコア取得後2年度(取得年度及び翌年度実施の入学試験に利用可能)

- ② スコアシート等は、一般入試前期、一般入試後期、推薦I、推薦II、AO入試それぞれの出願毎に提出してください。(例えば、一般入試前期と一般入試後期の両方に出願する場合、各1通ずつ、合計2通のスコアシート等が必要です。)ただし、TOEFL iBT及びIELTSのスコアシート等については、各試験団体から大学への直接送付となるため、出願毎の提出は必要ありません。
- ③ 原則として、スコアシート等は原本を出願時に提出する必要がありますが、出願期限までに再発行手続きが間に合わない場合は、有効期間内の公式な証明書をコピーし、出身学校等の校長が原本証明したものを提出してください。  
なお、本学が指定するスコアシート等を準備することができない事情がある場合は、相談に応じることがありますので、事前に入試課入試実施係(093-884-3056)までお問い合わせください。
- ④ 提出されたスコアシート等は返却しません。

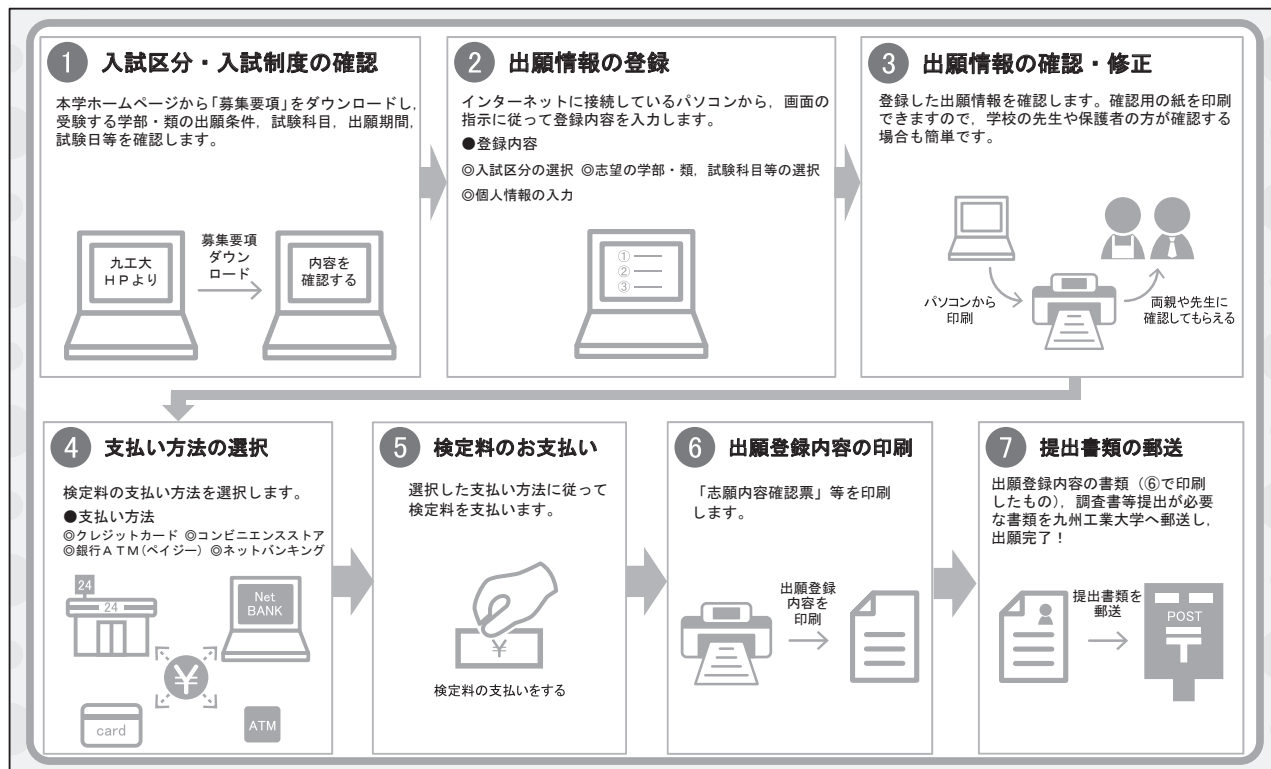
その他、英語の外部検定試験の利用に関するQ&Aを、本学ホームページ(<http://www.kyutech.ac.jp/>)の「入試に関するお知らせ」に掲載しておりますので、参照してください。

## 8. インターネットを利用した出願について

九州工業大学では、全ての学部入試において、インターネットを利用した出願方法となっています。各募集要項は、本学ホームページから電子ファイル（PDF形式）をダウンロードしてください。（冊子体での配布は行っておりません。）

なお、各募集要項の公表時期については、25ページを参照してください。

### 【インターネットを利用した出願の流れ】



### 【インターネット出願登録サイト】

下記<インターネット出願登録サイト>において、学生募集要項、出願方法、入学検定料の支払い方法等を確認することができます。

<インターネット出願登録サイト>

「九州工業大学ホームページ」→「インターネット出願」

<http://www.kyutech.ac.jp/examination/internet-application.html>

## 9. 障害等を有する入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害（下表参照）等があるものは、受験上及び修学上の配慮を必要とすることがありますので、出願の前に、あらかじめ本学に申し出てください。

なお、体幹及び両上下肢の機能障害が著しい者で、代筆解答を希望するものは、できるだけ早い時期に事前相談をしてください。

また、大学入試センターに事前相談した者は、必ず本学にも事前相談をしてください。

区 分	障 害 の 程 度
視覚障害者 〔強度の弱視者を含む〕	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者 〔強度の難聴者を含む〕	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者 〔身体虚弱者を含む〕	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

※ 学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠した。

(注) 日常生活において、ごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定などの対応の関係から必ず申し出てください。

### (1) 事前相談の期限

- ・推薦入試Ⅰ，帰国子女入試                      平成30年10月10日（水）まで
- ・私費外国人留学生入試                        平成30年12月11日（火）まで
- ・一般入試，推薦入試Ⅱ，AO入試            平成31年 1月 4日（金）まで

なお、相談の期限後に受験上及び修学上の配慮を必要とすることとなった場合にも、下記（3）の連絡先に問い合わせてください。

### (2) 事前相談の方法

事前相談申請書（健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

なお、事前相談申請書は、下記（3）の連絡先に請求してください。

### (3) 連絡先

九州工業大学入試課入試実施係  
〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号      電話 093-884-3056

## 10. 個別の入学資格審査について

学校教育法施行規則第150条第7号により本学への入学を希望する者は、事前に本学の入学資格審査を受け、認定された場合に限り出願できます。

平成31年度の本学入学試験に出願を希望する者は、下記の要領に従って申請手続きを行ってください。

### (1) 入学資格審査の対象者

高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者及び卒業見込みの者

### (2) 申請手続

次の書類を取り揃え申請してください。

- ①九州工業大学入学資格認定交付申請書（別記様式第1）
- ②学習等の履歴書（別記様式第2）及び成績証明書
- ③当該学校の教育が12年の課程であることを証明できるもの
- ④当該学校の教育内容等を証明できるもの
- ⑤卒業証明書又は卒業見込証明書
- ⑥返信用封筒（長形3号封筒に、郵便番号・住所・氏名を明記し、392円分の郵便切手を貼ったもの）

### (3) 申請期間及び申請書類の送付先等

本学の入学資格の審査を受けようとする者は、平成30年8月31日（金）までに申請してください。（郵送の場合も平成30年8月31日（金）必着）

ただし、大学入試センター試験を受験した者で、受験後に本学の入学資格の審査を受けようとするものは、平成31年1月18日（金）までに申請してください。（郵送の場合も平成31年1月18日（金）必着）

なお、申請書類を郵送する場合は、必ず簡易書留郵便とし封筒表面に「大学入学資格認定交付申請」と朱書きしてください。

申請先： 九州工業大学入試課入試実施係  
〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号  
電話 093-884-3056

### (4) 入学資格審査の結果

入学資格審査の結果は、平成30年9月28日（金）までに申請者宛に郵送により通知します。

ただし、大学入試センター試験実施後に申請があった者については、速やかに入学資格審査の結果を申請者宛に郵送により通知します。

### (5) 九州工業大学入学試験の受験について

「九州工業大学入学資格認定書」の交付を受けた者は、本学の入学試験に出願し受験することができます。出願の際は、必ず「九州工業大学入学資格認定書（写）」を添付してください。

### (6) その他

学校教育法施行規則第150条第6号により出願する者についても、上記に準じて取り扱うこととします。

## 九州工業大学入学資格認定交付申請書

平成 年 月 日

九州工業大学長 殿

氏 名

生年月日

現住所

平成 31 年度九州工業大学入学試験の入学資格認定を受けたいので、下記書類を添えて申請します。

記

[添付書類]

1. \_\_\_\_\_
2. \_\_\_\_\_
3. \_\_\_\_\_
4. \_\_\_\_\_
5. \_\_\_\_\_



## 学 習 等 の 履 歴 書

平成 年 月 日現在

申請者氏名	ふりがな		
生年月日	昭和 平成	年 月 日生(満 歳)	性別 男・女
現住所 〒 (      -      )			
電話番号      -      -	携帯電話番号      -      -		
連絡先 〒 (      -      )			
電話番号      -      -	携帯電話番号      -      -		
履 歴 学習歴・資格(小学校卒業後から詳しく書いてください。)			
平成 年 月	小 学 校 卒 業		
平成 年 月	中 学 校 入 学		
平成 年 月	中 学 校 卒 業		

## 1 1. 入学試験に係る情報開示について

平成31年度入学試験に係る情報開示に関する詳細は、各入学試験に係る募集要項にてお知らせします。  
なお、各募集要項等の公表時期及び入手方法については、25～27ページを参照してください。

## 1 2. 安全保障輸出管理について

九州工業大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「九州工業大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

なお、詳細については、下記のホームページを参照願います。

URL: <http://www.kyutech.ac.jp/exchange/anpo.html>

### 13. 募集要項等の公表時期及び入手方法等

入学者選抜に関する細目を記載した学生募集要項は、インターネット出願の導入により冊子体での配布を廃止し、本学ホームページから電子媒体（PDFファイル形式）をダウンロードして入手する方法に変わりました。（印刷した冊子体自体がなくなりました。）

なお、大学案内、入学者選抜要項、各募集要項の入手方法は以下のとおりです。

#### I 本学のホームページから電子媒体（大学案内、入学者選抜要項及び募集要項）をダウンロード


本学ホームページ(<http://www.kyutech.ac.jp/>)の入試資料請求のページから募集要項等の電子媒体(PDFファイル形式)のダウンロードができます。電子媒体でダウンロードできるもの及び公表予定時期は以下のとおりです。

- |                  |            |           |
|------------------|------------|-----------|
| ○ 大学案内           | ・・・・・・・・・・ | 公表・配布中    |
| ○ 入学者選抜要項（本冊子）   | ・・・・・・・・・・ | 公表・配布中    |
| ○ 推薦入試Ⅰ学生募集要項    | ・・・・・・・・・・ | 9月中旬公表予定  |
| ○ 推薦入試Ⅱ学生募集要項    | ・・・・・・・・・・ | 9月中旬公表予定  |
| ○ 帰国子女入試学生募集要項   | ・・・・・・・・・・ | 9月中旬公表予定  |
| ○ A〇入試学生募集要項     | ・・・・・・・・・・ | 10月下旬公表予定 |
| ○ 私費外国人留学生入試募集要項 | ・・・・・・・・・・ | 10月下旬公表予定 |
| ○ 一般入試学生募集要項     | ・・・・・・・・・・ | 10月下旬公表予定 |

#### II 印刷した冊子体（大学案内及び入学者選抜要項）を請求

##### (1) テレメールで請求する場合

- ① インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）又は自動音声応答電話を利用してください。

インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）の場合	自動音声応答電話の場合	
<a href="http://telemail.jp">http://telemail.jp</a>	I P 電話	050-8601-0101
 <p>バーコード ※対応するスマートフォン・携帯電話 で読み取れます。</p>		



※ I P電話：一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

- ②資料請求番号（6桁）を入力又はプッシュしてください。

資 料 名	資料請求番号	料金（送料含む）
大学案内	5 6 7 2 5 2	料金は資料請求番号（6桁）を入力又はプッシュ後、通知します。
入学者選抜要項	5 9 7 1 5 2	
入学者選抜要項+大学案内	5 9 7 1 6 2	

- ③ガイダンスに従って登録してください。


- \* テレメールをご利用済みの方はお届け先の登録は不要です。
- \* 発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。
- \* 資料は発送日の翌日・翌々日に届きます。夕方までの受付は当日発送となりますが、夕方以降は翌日発送となります。なお、お届け先が北海道の一部・沖縄・離島などの場合は3日以上かかります。
- \* 随時発送の資料が1週間以上(予約受付の資料は発送開始日から1週間以上)経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。
- \* 料金はお届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認のうえ、お支払いください。なお、支払い手数料が別途必要になります（携帯・スマホ払い、クレジットカード払いは50円。コンビニ払いは86円。ゆうちょ銀行・郵便局のATM払いは80円、窓口払いは130円。携帯・スマホ払い、クレジットカード払い、コンビニ払いは、1回分の手数料で、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます）。
- \* 自動音声応答電話による請求の場合、住所、名前の登録時は、ゆっくりはっきりとお話してください。登録された音声不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

- ④請求方法についての問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター  
電話 050-8601-0102 (9:30~18:00)

## (2) 大学情報センター「モバっちょ」で請求する場合

①インターネット（携帯電話，スマートフォン，パソコン）を利用してください。

携帯電話，スマートフォン，パソコンから請求する場合	
	<a href="http://djc-mb.jp/kyutech3/">http://djc-mb.jp/kyutech3/</a>
※携帯・スマホ払い，クレジットカード払い，コンビニ後払いができます。 送料に加えて，携帯・スマホ払い，クレジットカード払いは50円，コンビニ後払いは126円の支払手数料が必要です。 ※携帯電話・スマホの機種，携帯電話会社との契約状況によって，携帯・スマホ払いがご利用いただけない場合があります。 ※お急ぎの方は宅配便の利用もできます。	

・送料

資料名	料金
大学案内	250円
入学者選抜要項+大学案内	350円

②請求方法についての問い合わせ先

大学情報センター(株)モバっちょカスタマーセンター  
電話 050-3540-5005（平日10:00～18:00）

## (3) 九州工業大学のホームページから「テレメール」，「モバっちょ」で請求する場合

九州工業大学ホームページ (<http://www.kyutech.ac.jp/>) の「入試資料請求」をクリックすると，「テレメールで資料請求」，「モバっちょで資料請求」というリンクがありますので，それをクリックしてください。そこから，必要な資料が請求できます。

## (4) 大学へ直接請求する場合

①窓口配布

月曜日～金曜日（ただし，祝日等を除く。）の8時30分から17時15分までの間に入試課入試実施係において受領してください。（無料）

②郵送で請求する場合

27ページの必要事項を記入したメモ用紙及び返信用封筒【角形2号（A4版の冊子が封入可能な大きさ）の封筒に，郵便番号，住所，氏名を明記し，切手（金額は下記の郵便料金参照）を貼付】を同封の上，請求してください。なお，12月31日（月）～1月3日（木）の期間は，年末年始に伴う休業期間のため，資料発送が停止となります。

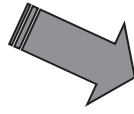
・郵便料金

資料名	料金
大学案内	300円
入学者選抜要項	180円
入学者選抜要項+大学案内	300円

【メモ用紙】

※ア～ウについて記入

ア. 請求する資料名
イ. 「入試資料請求」という一文
ウ. 氏名, 電話番号

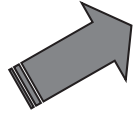


【大学あての封筒】

切手	804-8550	北九州市戸畑区仙水町 一番一号
	九州工業大学 入試課入試実施係 宛	

【返信用封筒（角形2号・A4版サイズ）】

切手	郵便番号	□□□-□□□□
	氏名	住所



折って入れる

③請求及び問い合わせ先

九州工業大学入試課入試実施係

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号

電話 093-884-3056

## 14. 各学部のアドミッションポリシー

### (1) 工学部

工学部は大学開学以来の学部で、100年を超える歴史をもちます。建学の精神である「技術に堪能なる士君子」、安川敬一郎氏の「錬心壯膽(胆)」に象徴される理念が今も伝統として残るとともに、その精神は工学部の専門教育の中で知識と技術の修得とともに育まれてきました。

工学部では大学全体の入学者受入方針に加え、100年を超える歴史と伝統に基づく「ものづくり」をキーワードとして、建設社会工学科、機械知能工学科、宇宙システム工学科、電気電子工学科、応用化学科、マテリアル工学科の6学科それぞれの分野において、高度な専門技術を身につけた人材を養成します。

工学は各専門領域の工学体系において、より効率的に、快適に、高度利用することをめざした学問です。工学部は、これからの地球や生活環境に調和した技術を創出し、社会に貢献する人を世に送り出すために、幅広い教養、豊かな人間性、技術者としての高い倫理観、そしてグローバル社会で活躍できるコミュニケーション能力を備えた技術者の育成をめざしています。

そこで、工学部が入学時点で入学者にもってほしいと期待する素養や能力は以下のとおりです。

- ・数学、理科（物理・化学）を学ぶことが好きで、それらの基礎学力をもつ人
- ・ものづくりに興味があり、工学における高度で幅広い知識を修得する意欲と工学にかかわる問題の解決に情熱をもって取り組める人
- ・自己の向上をめざすさまざまな活動に主体的に参加して、多様な知識を吸収し、自信に満ちた意思を伝えることができる人
- ・ものづくりやシステムの構築に協働して取り組むことを好み、最後までやりとげる意欲をもつ人

本学部での授業内容を理解するために、高等学校等における数学と理科（物理・化学）を特に学んでおくことを望みます。一般入試では、修学に必要な総合的な学力を評価します。特に、数学・理科の特定科目（物理・化学）を評価します。特別入試では、理数系基礎学力を評価するとともに、語学力や論理的な思考力など技術者としての適性や主体性などを評価します。

(類別の育成目標)

工学部入学者受入方針に加え、特に次のような人材を育成します。

#### 工学1類

建築・国土デザイン系の学問の基礎を学び、建設社会工学科へ進級する類型です。「豊かな生活空間及び都市・建築の創造」、「災害に強い社会基盤の建設と運用・維持管理」に関する知識・技術を修得し、安心と豊かさを実感できる国土及び安全快適で環境と調和した社会基盤施設や建築物をつくり、それらを通じて持続可能な社会の形成に貢献できる、人間性豊かな高度技術者の育成をめざしています。

#### 工学2類

機械・制御系の学問の基礎を学び、機械知能工学科や宇宙システム工学科へ進級する類型です。身の回りで起こる様々な自然現象を支配する原理や力学法則を理解し、その知識を活用して人類の幸福や自然との共生、先進的な宇宙利用に役立つ「もの」をつくることができ、広い視野をもって時代の変化に柔軟に対応できる能力を備えた技術者の育成と、宇宙システムに代表される複雑な工学システムの創成、研究開発、製造、運用を担える高度技術者の育成をめざしています。

#### 工学3類

電気・電子・通信系の学問を修得するために必要となる基礎科目を学び、電気電子工学科や宇宙システム工学科へ進級する類型です。電力、電気電子材料、電子回路・機器とそれらを結ぶシステム技術を含む幅広い知識と技術を修得し、電気に関連した技術を利用する全ての産業・社会分野において、創意を發揮し、あらたな技術の開発、「もの」やシステムを創出できる行動力のある高度技術者の育成と、宇宙システムに代表される複雑な工学システムの創成、研究開発、製造、運用を担える高度技術者の育成をめざしています。

#### 工学4類

化学系の学問の基礎を学び、応用化学科へ進級する類型です。有機化学、無機化学、物理化学、化学工業の基礎知識を学び、環境、エネルギー、バイオ、医薬などにかかわる新材料の合成から化学プラントの設計まで、化学に関する幅広い知識・技術を修得して、人類と地球に優しい新しい物質を作り出し、未来の社会に貢献できる高度技術者の育成をめざしています。

#### 工学5類

マテリアル系の学問の基礎を学び、マテリアル工学科や宇宙システム工学科へ進級する類型です。鉄鋼、合金、半導体、セラミックス、複合材料など「もの」の性能を決定するマテリアルの構造と性質を科学的に解明し、新しいマテリアルを設計製造するなど、高度な材料開発とともに、資源、リサイクル、エネルギー問題にも取り組むことができる高度技術者の育成と、材料分野に興味を持ちつつ宇宙システムに代表される複雑な工学システムの創成、研究開発、製造、運用を担える高度技術者の育成をめざしています。

(類別の求める人物像)

工学部入学者受入方針に加え、類毎に、下記に示すような人を求めます。

#### 工学1類

理数系科目に興味があり、数学と理科（理科の中では、特に、物理）に関して高い能力と関心をもつ人  
建築・国土デザイン分野に興味があり、種々の建築物および社会基盤施設の安心・安全な設計・施工技術や都市・地域における持続可能な「まちづくり」に高い関心をもち、能動的に学修に取り組む意欲のある人

#### 工学2類

機械・制御・宇宙工学分野に関心があり、主体的に学修に取り組み楽しむことができる人  
専門性を基礎として新たな価値の実現にチャレンジし続ける人  
国際性を身につけ、高い見識と品格を有する高度技術者たらんと努力する人

#### 工学3類

電気・電子・通信・宇宙工学分野に関心をもつ人  
将来、電気エネルギーを高度に利用するためのシステム、機能材料や電子機器の設計、さらに電気の学問分野に関連する光、音、波の要素技術、それらと高度情報処理技術を融合した次世代のコンセプトの創出に取り組める素養の形成に能動的に取り組める人

#### 工学4類

理数系科目に興味があり、特に化学に関して高い能力と関心をもつ人  
エネルギー、環境、バイオ、医療などに貢献する新材料をつくり出し、先端産業の発展に貢献したい人  
化学技術や新物質が自然や社会に及ぼす影響を考え、新しい工業生産技術・方法を開発したい人

#### 工学5類

マテリアル工学・宇宙工学分野に関心があって、数学、理科などに関する基礎学力を身につけており、能動的に学修に取り組む意欲をもつ人  
それに加えて、自分の考えを明解かつ論理的に表現できるコミュニケーション能力の向上に意欲があり、倫理観を身につけチャレンジ精神に満ちた技術者をめざす人

## (試験区分別の基本方針)

入試は工学1類から5類の類別で行われ、2年生進級時より各学科に配属されます。

### 前期日程試験

数学・理科全般に高い能力を有し、かつ、修学に必要な総合的な基礎学力を問う入試です。

具体的には、大学入試センター試験と個別学力検査の成績及び調査書により総合的に学力の優れた能力を示す学生を受け入れます。そのために、調査書により学修状況を把握した上で、大学入試センター試験では、国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の5教科7科目を課し、幅広く基礎学力を測るとともに、数学、理科(物理と化学)2教科3科目については、個別学力検査において、記述式の問題を課すことにより、思考力、計算力、判断力及び論述力もあわせて評価します。なお、個別試験において数学は数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学Bの範囲、理科については物理基礎・物理、化学基礎・化学の範囲を問います。大学入試センター試験の得点及び個別学力検査の得点を総合して総合点の高い順に合格者を決定します。

### 後期日程試験

数学・理科の特定科目に高い能力を有し、かつ、修学に必要な総合的な基礎学力を問う入試です。

具体的には、大学入試センター試験と個別学力検査及び調査書の成績により、特に、数学もしくは理科の特定の科目に優れた能力を示す学生を受け入れます。そのために、調査書により学修状況を把握した上で、大学入試センター試験では、国語、数学、理科、外国語の4教科6科目を課し、これまで身につけた基礎学力とその到達度をみます。個別学力検査については、数学、物理、化学のうちから1科目のみを選択させることによって特定の科目について高い思考力を有するかどうかを重視します。なお、個別試験において数学は数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学Bの範囲から、理科については物理基礎・物理、化学基礎・化学の範囲を問います。大学入試センター試験の得点及び個別学力検査の得点を総合して総合点の高い順に合格者を決定します。

### 推薦入試Ⅰ

論理的なコミュニケーション力を持ち、理数系基礎学力を有することを問う入試です。

具体的には、大学入試センター試験を免除し、調査書及び面接試験の結果に基づき選抜を実施します。そのために、面接試験は、高等学校の学修で理解できる「数学および理科」の基礎的問題について口頭試問による面接を行い、その理解度(論理性、計算力、表現力を含む)をみます。また、工学に対する適性(科学・技術に対する興味や意欲、専門に対する適性、自律的かつ対話的な学修態度など)や自分の考えの表現力について調査書及び推薦書とあわせて評価します。いずれも論理的な対話能力の評価を含みます。調査書については、評定平均値を点数化します。総得点の高い順に合格者を決定します。

### 推薦入試Ⅱ

工学分野への興味や関心を持ち、かつ、修学に必要な総合的な基礎学力を問う入試です。

具体的には、大学入試センター試験と調査書との総合成績により、科学と技術に対して強い興味や学習意欲をもつ学生を受け入れます。そのために、個別学力検査及び面接試験を課さず、大学入試センター試験では、国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の5教科7科目を課し、これまで身につけた幅広い基礎学力とその到達度をみます。調査書については、学修状況を把握した上で、評定平均値を数値化します。総得点の高い順に合格者を決定します。

### AO入試

多様性を享受し、協働的かつ主体的な活動を行う事ができる態度を身につけることを目指す本学のGCE(Global Competency for Engineer)教育の中で、工学に適用できる知識・技術を持ちつつ、学習機会やグループ活動において中心的な役割を果たす事ができるスキル、態度を持つ学生を選抜する入試です。

具体的には、第一に、個人面接及びグループワーク、課題解決型記述問題、調査書等を総合的に評価する総合選抜方式により、主体的・協働的な学びを行う為のスキルと態度、及び、論理的な思考能力、表現力が身につけていることを評価します。第二に、大学入試センター試験(5教科7科目)を利用し、工学の分野において必要となる、理数の知識・技能及び論理的思考能力、表現力があることを評価します。これら二者を総合して、合格者を決定します。

### 帰国子女入試

外国での修学経験を持ち、数学・理科などの理数系基礎学力を有することを問う入試です。

面接試験(数学・理科に関する基礎的問題についての口頭試問等を含む)及び出願書類審査によって、入学後の修学に必要な基礎学力の有無を評価するとともに、工学に対する適性を評価します。

### 私費外国人留学生入試

外国籍を有するもので、日本語能力、基礎学力を有することを問う入試です。

様々な国で多様な教育を受けているという受験者それぞれの事情も十分に考慮しつつ、小論文、面接試験、日本留学試験及び英語能力検定試験の成績を総合的に評価し、合格者を決定します。



## (2) 情報工学部

情報工学部は、昭和61年（1986年）に日本初の情報工学部として設置されました。以来30年、1万人を超える情報通信技術者を生みだし、卒業生は、様々な分野で日本の情報通信革命を支えてきました。

本学の入学者受入方針に加え、特に、「情報」をキーワードとして、知能情報工学科、情報・通信工学科、知的システム工学科、物理情報工学科、生命化学情報工学科の5学科のそれぞれの分野において、高度な専門技術を身につけた人材を養成します。そのため、将来の科学と技術の進歩にも十分対応できる基礎学力と情報化社会をリードする専門性を身につける教育を各学科において行います。さらに、「技術に堪能なる土君子」という本学の建学の精神のもとに、幅広い教養や豊かな人間性、技術者としての高い倫理観、そしてグローバル社会で活躍できるコミュニケーション能力を備えた技術者の育成をめざしています。

そこで、情報工学部では、次のような素養と能力をもつ人材を求めます。

- ・数学、理科（物理、化学、生物等）、情報などの理数系科目の基礎学力をもつ人
- ・科学と技術、特に情報工学及びそれを用いた先端技術に興味があり、それらを用いて世の中を変えていくことや社会の問題を解決することに強い関心と意欲をもつ人
- ・国際社会と文化に興味と関心を持ち、グローバル化に対応するコミュニケーション能力の修得に意欲をもつ人
- ・ものごとを論理的に表現でき、自律的に学び、多様な人々と協働して活動する態度を身につけている人

本学部での授業内容を理解するために、高等学校等における数学と理科を特に学んでおくことを望みます。一般入試では、修学に必要な総合的な学力を評価します。特に数学・理科全般、もしくは、数学・理科の特定科目を評価します。特別入試では、理数系基礎学力を評価するとともに、語学力や論理的な思考力など技術者としての適性或主体性などを評価します。

（類別の育成目標）

情報工学部入学者受入方針に加え、特に次のような人材を育成します。

### 情工1類

情報工学の基礎を学び、知能情報工学科や情報・通信工学科へ進級する類型です。データ科学、人工知能、メディア情報学、ソフトウェアデザイン、情報通信ネットワーク、コンピュータ工学を中心とした情報工学の最先端に関する幅広い知識・技能を育成することで、社会の様々な要求にこたえる情報システムを構築できる高度技術者に必要な能力を発展・向上させます。

### 情工2類

情報工学の基礎を学び、知的システム工学科を中心として情報工学部の全学科へ進級できる類型です。機械工学と制御工学を中心として、主として工学の諸分野と情報工学を融合することで、ロボティクス、システム制御、先進機械を中心とした分野に関する幅広い知識・技能を育成することで、新しい情報技術を創出できる高度技術者に必要な能力を発展・向上させます。

### 情工3類

情報工学の基礎を学び、物理情報工学科や生命化学情報工学科へ進級する類型です。物理学、化学、生物学といった自然科学に情報工学を適用し、電子物理工学、生物物理工学、分子生命工学、医用生命工学を中心とした分野に関する幅広い知識・技能を育成することで、新しい情報技術を創出できる総合的な能力を身につけた高度技術者に必要な能力を発展・向上させます。

(類別の求める人物像)

情報工学部入学者受入方針に加え、類毎に、下記に示した点に能力と意欲をもつ人を求めます。

#### 情工1類

理数系科目に興味があり、特に数学に関して高い能力と関心をもつ人

情報工学を通して、人とコンピュータが協調する新しい情報システムの実現に意欲的に取り組み、コンピュータと通信を駆使した次世代スマート社会の実現に興味をもつ人

#### 情工2類

理数系科目に興味があり、数学と理科のいずれにも能力と関心をもつ人

情報工学と工学諸分野の融合やそれによる社会に及ぼす影響に深い関心を持ち、人と未来を繋ぐ知的システムの創造に興味をもつ人

#### 情工3類

理数系の科目に興味があり、特に理科に関して高い能力と関心をもつ人

情報工学の自然科学への応用に深い関心を持ち、物理学・化学・生物学と情報の力で世界を解き明かすことによりイノベーションを創出したい人

(試験区分別の基本方針)

入試は情工1類から3類の類別で行われ、2年生進級時より各学科に配属されます。

#### 前期日程試験

数学・理科全般に高い能力を有し、かつ、修学に必要な総合的な学力を問う入試です。

具体的には、大学入試センター試験、個別学力検査の成績及び調査書により総合的に学力の優れた学生を受け入れます。そのために、調査書により学修状況を把握した上で、大学入試センター試験において、国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の5教科7科目を課し、幅広く基礎学力を測るとともに、数学、理科(物理、化学もしくは生物のうち1科目)の2教科については、個別学力検査において、記述式の問題を課すことにより、思考力、計算力、判断力及び論述力もあわせて評価します。なお、個別試験において数学は数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学Bの範囲、理科については物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の範囲を問います。大学入試センター試験の得点及び個別学力検査の得点を総合して総合点の高い順に合格者を決定します。総合点において、情工1類では数学の配点比率を高く、情工2類では、数学と理科の比率を同率に、情工3類では、理科の配点比率を高くなるようにして評価します。

#### 後期日程試験

数学・理科の特定科目に高い能力を有し、かつ、修学に必要な総合的な基礎学力を問う入試です。

具体的には、大学入試センター試験と個別学力検査及び調査書の成績により、特に、数学もしくは理科の特定の科目に優れた能力を示す学生を受け入れます。そのために、調査書により学修状況を把握した上で、大学入試センター試験では、国語、数学、理科、外国語の4教科6科目を課し、これまで身につけた基礎学力とその到達度をみます。センター試験の配点において、情工1類では、数学の配点比率を高く、情工2類では、数学と理科の比率を同率に、情工3類では、理科の配点比率を高くなるようにして評価します。個別学力検査については、数学、物理、化学のうちから1科目のみを選択させることによって、特定の科目について高い思考力を有するかどうかを重視します。なお、個別試験において数学は数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学Bの範囲、理科については物理基礎・物理、化学基礎・化学の範囲を問います。大学入試センター試験の得点及び個別学力検査の得点を総合して総合点の高い順に合格者を決定します。

#### 推薦入試Ⅰ

論理的なコミュニケーション力を持ち、理数系基礎学力を有することを問う入試です。

具体的には、大学入試センター試験を免除し、調査書及び面接試験の結果に基づき、可否を判定します。そのために、面接試験では、個人面接により、志望の動機、適性、自律的な学修態度などをみます。さらに、英語、数学及びインターネット出願登録時に選択した理数科目の基礎的学力をみる口頭試問を実施します。いずれも論理的な対話能力の評価を含みます。調査書は、学修状況を把握した上で、評定平均値を点数化します。総得点の高い順に合格者を決定します。高等学校もしくは中等教育学校の職業教育を主とする学科及び総合学科の出身者については、数学の選択範囲を情報技術基礎(工業)、プログラミング(商業)、アルゴリズムとプログラム(情報)まで拡張します。

### AO入試

多様性を享受し、協働的かつ主体的な活動を行う事ができる態度を身につけることを目指す本学のG C E (Global Competency for Engineer) 教育の中で、工学に適用できる知識・技術をもちつつ、学習機会やグループ活動において中心的な役割を果たす事ができるスキル、態度を持つ学生を選抜する入試です。

具体的には、第一に、個人面接及びグループワーク、課題解決型記述問題、調査書等を総合的に評価する総合選抜方式により、主体的・協働的な学びを行う為のスキルと態度、及び、論理的な思考能力、表現力が身につけていることを評価します。第二に、大学入試センター試験(5教科7科目)を利用し、工学の分野において必要となる、理数の知識・技能及び論理的思考能力、表現力があることを評価します。これら二者を総合して、合格者を決定します。

### 帰国子女入試

外国での修学経験をもち、数学・理科・英語などの基礎学力を有することを問う入試です。

様々な国で多様な教育を受けているという受験者それぞれの事情も十分に考慮しつつ、面接試験(数学・理科・英語に関する基礎的問題についての口頭試問等を含む)及び出願書類審査によって、入学後の修学に必要な基礎学力の有無を評価するとともに、専門に対する適性を評価します。

### 私費外国人留学生入試

外国籍を有するもので、日本語能力、基礎学力を有することを問う入試です。

様々な国で多様な教育を受けているという受験者それぞれの事情も十分に考慮しつつ、小論文、面接試験、日本留学試験及び英語能力検定試験の成績を総合的に評価し、合格者を決定します。

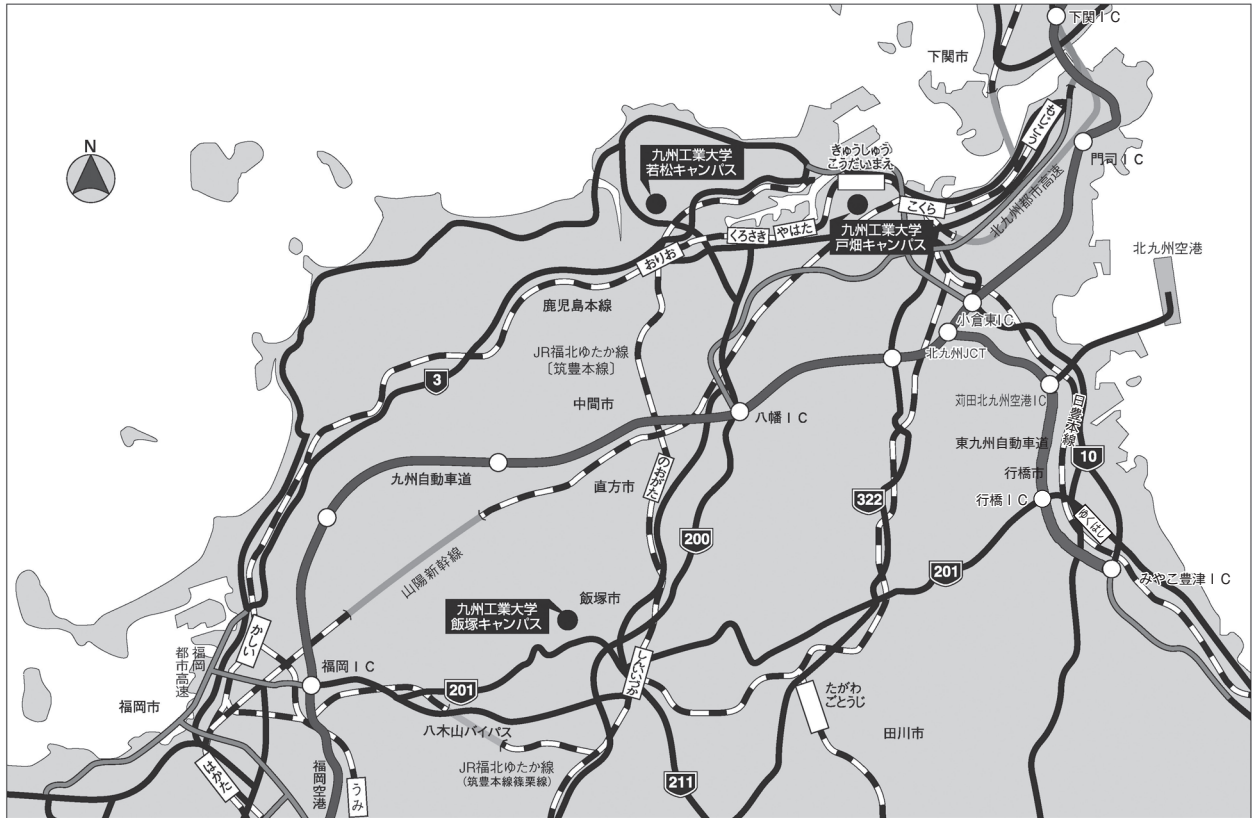
◆平成30年度入学試験実施状況（推薦入試Ⅰ・Ⅱ，前期日程，後期日程）

学部・類		区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
工 学 部	工学1類	推薦Ⅰ	8	66 (26)	66 (26)	9 (4)	9 (4)
		推薦Ⅱ	2	16 (5)	16 (5)	2 (1)	2 (1)
		前期	38	121 (31)	114 (27)	42 (8)	42 (8)
		後期	32	194 (36)	87 (16)	39 (6)	27 (4)
	工学2類	推薦Ⅰ	22	93 (7)	93 (7)	23 (1)	23 (1)
		推薦Ⅱ	3	28 (2)	28 (2)	3 (0)	3 (0)
		前期	74	222 (15)	216 (15)	82 (6)	81 (6)
		後期	66	351 (23)	155 (11)	71 (6)	58 (5)
	工学3類	推薦Ⅰ	30	73 (7)	73 (7)	31 (5)	31 (5)
		推薦Ⅱ	2	10 (1)	10 (1)	2 (0)	2 (0)
		前期	62	129 (10)	126 (10)	72 (5)	70 (5)
		後期	50	188 (11)	95 (7)	54 (1)	39 (1)
	工学4類	推薦Ⅰ	14	36 (20)	35 (20)	15 (10)	15 (10)
		推薦Ⅱ	3	10 (3)	10 (3)	4 (1)	4 (1)
		前期	33	60 (15)	53 (14)	39 (9)	39 (9)
		後期	24	141 (26)	66 (11)	28 (3)	22 (2)
	工学5類	推薦Ⅰ	10	21 (3)	21 (3)	10 (1)	10 (1)
		推薦Ⅱ	3	13 (1)	13 (1)	4 (0)	4 (0)
		前期	32	73 (7)	67 (6)	35 (5)	33 (4)
		後期	23	103 (9)	55 (1)	26 (1)	21 (1)
小計			531	1,948 (258)	1,399 (193)	591 (73)	535 (68)
情 報 工 学 部	情工1類	推薦Ⅰ	35	135 (29)	135 (29)	37 (12)	37 (12)
		推薦Ⅱ	2	28 (7)	28 (7)	3 (0)	3 (0)
		前期	105	295 (45)	284 (41)	109 (18)	103 (15)
		後期	35	274 (31)	138 (14)	43 (6)	37 (5)
	情工2類	推薦Ⅰ	24	41 (5)	41 (5)	23 (4)	23 (4)
		推薦Ⅱ	2	10 (0)	10 (0)	1 (0)	1 (0)
		前期	60	175 (17)	171 (17)	67 (7)	65 (7)
		後期	24	128 (9)	67 (7)	26 (3)	24 (3)
	情工3類	推薦Ⅰ	25	40 (17)	40 (17)	28 (14)	28 (14)
		推薦Ⅱ	2	8 (2)	8 (2)	1 (0)	1 (0)
		前期	71	123 (32)	115 (30)	80 (19)	77 (18)
		後期	25	97 (35)	42 (13)	32 (7)	20 (4)
	小計			410	1,354 (229)	1,079 (182)	450 (90)
合 計			941	3,302 (487)	2,478 (375)	1,041 (163)	954 (150)

( ) 内は女子で内数。

合格者には第2志望及び第3志望による合格者を含む。

◆九州工業大学の所在地



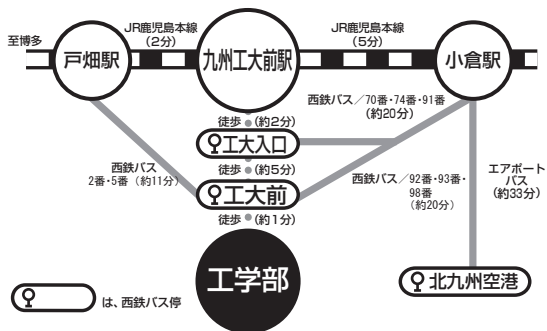
# TOBATA

## 工学部 (戸畑キャンパス)



●所在/福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号

●交通案内



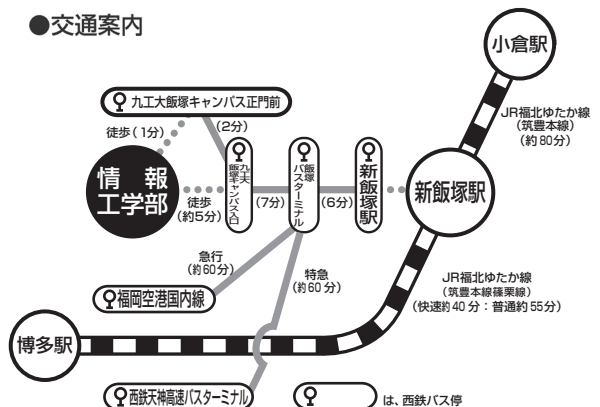
# IIZUKA

## 情報工学部 (飯塚キャンパス)



●所在/福岡県飯塚市川津680番4

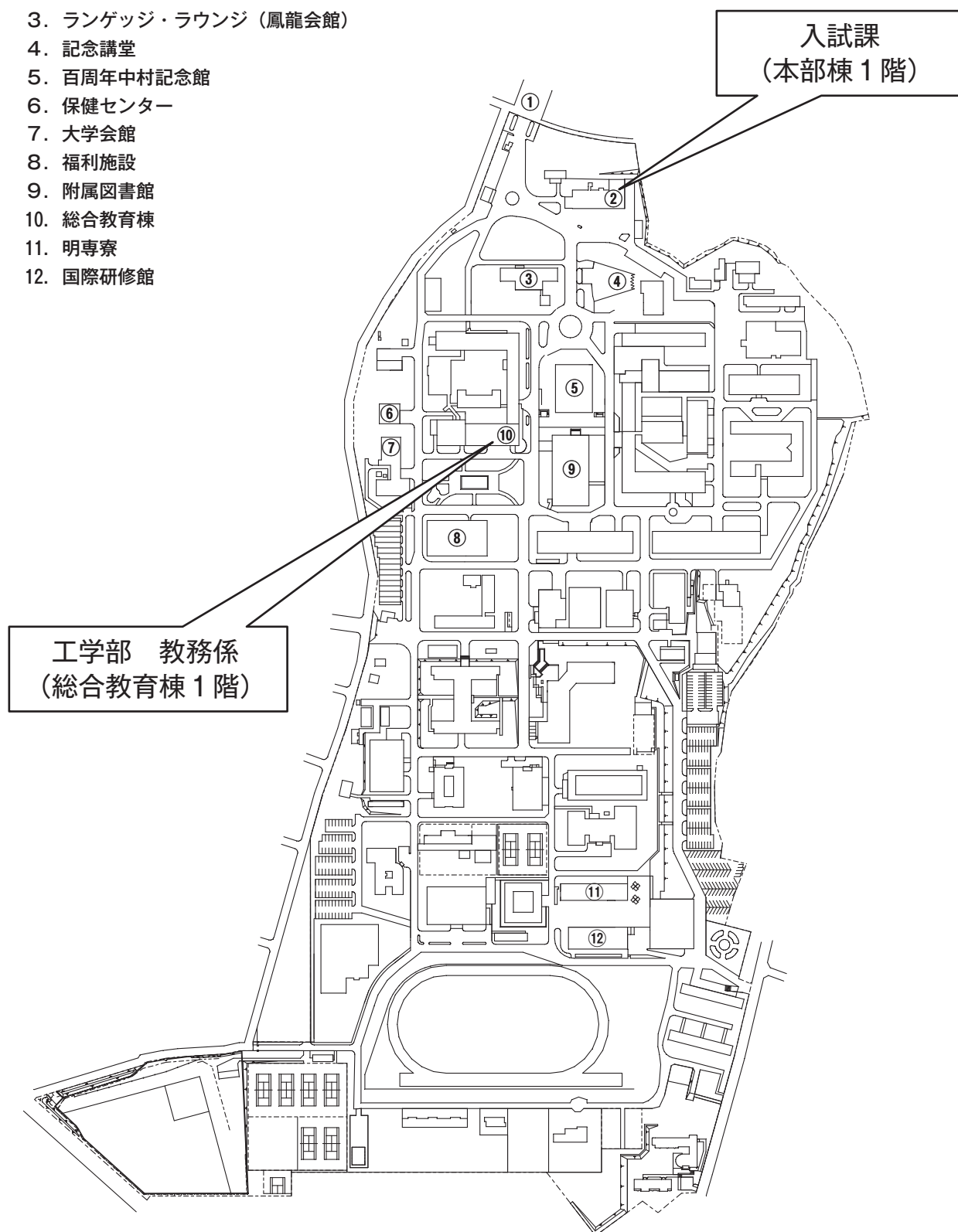
●交通案内



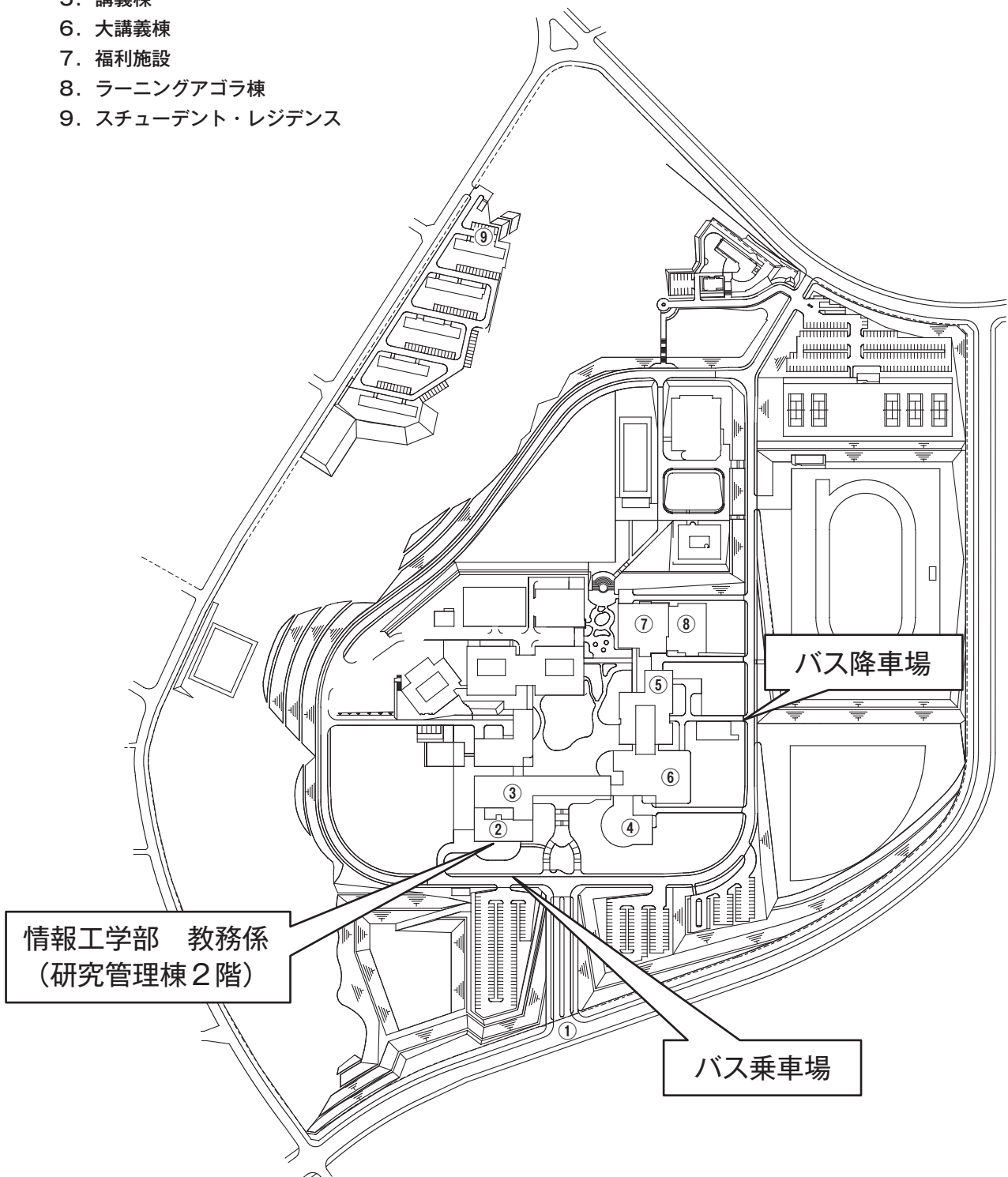
※西鉄天神高速バスターミナルから九工大飯塚キャンパスまでの直通バスもあります。  
 ※飯塚キャンパスでは、スクールバスを運行しています。  
 詳細は (<http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/campuslife/school-bus>) 参照

# 工学部(戸畑キャンパス) 〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号

1. 正門
2. 本部棟
3. ランゲッジ・ラウンジ (鳳龍会館)
4. 記念講堂
5. 百周年中村記念館
6. 保健センター
7. 大学会館
8. 福利施設
9. 附属図書館
10. 総合教育棟
11. 明専寮
12. 国際研修館



1. 正門
2. 研究管理棟
3. 共通教育研究棟
4. 附属図書館分館
5. 講義棟
6. 大講義棟
7. 福利施設
8. ラーニングアゴラ棟
9. スチューデント・レジデンス



#### ◆平成32年度入学者選抜試験における国際バカロレア入試の導入について【予告】

本学では、基礎的・基本的な知識・技能に加え、「主体的に学び考える力」を育成する上で有益なプログラムとして国際的に評価されている国際バカロレアの資格取得者を対象に、平成32年度入試（平成31年度実施）から、新たに国際バカロレア入試を導入します。

今回導入する国際バカロレア入試では、国際バカロレア資格取得のための教育プログラム（ディプロマ・プログラム）の成績により、入学後の修学に必要な総合的な基礎学力等を備えているかを評価するとともに、多面的な評価を通して、工学への適性や本人の主体性、協調性等を評価する予定です。

国際バカロレア入試の出願要件や選抜方法等の詳細については、決まり次第、九州工業大学ホームページで公表します。





**九州工業大学**

**入試課入試実施係**

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号  
電話 093-884-3056

**工学部教務係**

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号  
電話 093-884-3332

**情報工学部教務係**

〒820-8502 福岡県飯塚市川津680番4  
電話 0948-29-7512